

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公開番号】特開 2021-37425 (P2021-37425A)  
【公開日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-013  
【出願番号】特願 2020-207092 (P2020-207092)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 11 日 (2021.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正面側に遊技領域を有する遊技盤と、その遊技盤の正面側に配設させるための第 1 部材と、その第 1 部材の正面側に所定の間隔を隔てて配設され、前記第 1 部材との対向間に遊技球を流下可能にする第 2 部材と、を備える遊技機において、

前記第 1 部材または第 2 部材の少なくとも一方に配設される所定部と前記第 1 部材または第 2 部材の他方との対向する間隔を変更する変更手段を備え、

前記変更手段によって、第 1 状態と、その第 1 状態とは前記第 1 部材および第 2 部材の対向間を流下する遊技球の流下の方向が異なる第 2 状態とを形成可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、正面側に遊技領域を有する遊技盤と、その遊技盤の正面側に配設させるための第 1 部材と、その第 1 部材の正面側に所定の間隔を隔てて配設され、前記第 1 部材との対向間に遊技球を流下可能にする第 2 部材と、を備えたものであり、前記第 1 部材または第 2 部材の少なくとも一方に配設される所定部と前記第 1 部材または第 2 部材の他方との対向する間隔を変更する変更手段を備え、前記変更手段によって、第 1 状態と、その第 1 状態とは前記第 1 部材および第 2 部材の対向間を流下する遊技球の流下の方向が異なる第 2 状態とを形成可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 1 記載の遊技機によれば、正面側に遊技領域を有する遊技盤と、その遊技盤の正

面側に配設させるための第 1 部材と、その第 1 部材の正面側に所定の間隔を隔てて配設され、前記第 1 部材との対向間に遊技球を流下可能にする第 2 部材と、を備えたものであり、前記第 1 部材または第 2 部材の少なくとも一方に配設される所定部と前記第 1 部材または第 2 部材の他方との対向する間隔を変更する変更手段を備え、前記変更手段によって、第 1 状態と、その第 1 状態とは前記第 1 部材および第 2 部材の対向間を流下する遊技球の流下の方向が異なる第 2 状態とを形成可能であるので、遊技者が不利であると認識することを抑制でき、遊技機の稼働率を向上できるという効果がある。